

4 令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|-----------------|--|---|--|--|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | ①カリキュラムマネジメントの視点から魅力ある教育課程を編成し、運用・改善する。 ②授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材、いつでも社会に出られる人材を育成する。 | ①編成した教育課程を運用し、一人ひとりの生徒に寄り添えるよう改善に努める。 ②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう授業改善に組織的に取り組む。 | ①各年次での課題について調査・分析し、次年度へ向けて改善に努める。 ②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう、テーマを設定し授業改善に組織的に取り組む。 | ①明らかになった課題に対し、具体的な方向性を打ち出すことができたか。 ②ICTの活用を進めるとともに、生徒が主体的に学習し、深い学びにつながるよう、テーマを設定し授業改善に組織的に取り組むことができたか。 |
| 2 | 生徒指導 ・ 支援 | ①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。 ②自己理解・他者理解を深め、自他を尊重できる人間関係を築き、いつでも社会に出られる（社会に通用する）コミュニケーション能力を育む。 | ①服装・遅刻・自転車指導等を組織的に行い、生徒がルールを遵守し、望ましい生活習慣を身に付けられるための支援に取り組む。 ②自主自律の精神のもと、生徒主体の行事運営を行い、自他を尊重し周りの人との信頼関係を築き、価値観の多様化に対応できるコミュニケーション能力を身に付ける。 | ①継続的な指導を行うとともに、新たな学校生活アンケートなどを実施し、生徒の生活習慣や実態を把握する。 ②生徒が主体となり、あらゆる視点から行事の企画・運営ができるように適切な助言・支援を行い、「聴く・伝える・質問する」力や協調性を高めるための活動の場を設ける。 | ①生徒の生活習慣が安定し、生徒が注意を受ける件数が減少したか。また生徒の実態に応じて適切な支援が行えたか。 ②生徒主体の活動において5割以上の生徒が積極的に取り組み、満足感や達成感を実感できたか。また様々な生徒会・ボランティア活動を外部に向けて発信できたか。 |
| 3 | 進路指導 ・ 支援 | ①学習意欲に結び付けるキャリア教育を展開し、保護者・家族と共にライフプランの実現ができるようなキャリアデザイン能力を身につけさせる。 | ①卒業後10年の将来像を描き、その実現に向けて、上級学校での取り組み、それにつながる高校での取り組みを考え、意欲的に学習を進める。 | ①授業だけでなく、家庭学習の中でスタディサブリを活用し、学力を伸長する。 ①目標を立てるために、情報を精査し、比較考察する。 | ①スタディサブリの取り組み時間など学習時間が増えたか。 ①目標を設定するための調べ学習などができたか。 |
| 4 | 地域等 との 協働 | ①学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。 ②学校と地域の連携協働の促進により、地域連携部会において生徒と地域の両方の将来を考えていく開かれた学校づくりを進め、地域の力を学校運営に反映させる。 | ①学校運営協議会の充実を図り、学校運営協議会をとおして地域と協働連携を図り、地域の力を学校運営に生かす。 ②地域連携部会等の連携をとおして、学校と地域がともに生徒を育てる取組みを推進する。 | ①学校運営協議会の意見や提言を生かす取組みができるように各部署との連携を強化し、実現に向けて取り組む。 ②地域との連携を図り、学校と地域がともに生徒を育てる取組みを推進し、充実した地域交流を目指す。 | ①各部署と連携し、学校運営に生かす具体的方策について集約し、実現できたか。 ②地域との連携協働により、生徒の主体的な取組みを推進・検討し、充実した地域交流ができたか。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①ICTを利活用したさまざまな活動を支援するための教育環境を整備する。 ②生徒の防災意識・感染対策意識の向上に努める。また、SDGsを推進するための意識を醸成する。 ③情報を迅速に発信し、開かれた学校をつくる。 | ①ICT環境整備後の各機器の使用状況を把握するとともに、故障時の対応などICT環境を適切に維持する仕組みについて検討する。 ②生徒の防災意識を高め、大災害発生に備えての意識づけを推進する。 ③本校の取組みを適切かつ迅速に発信し、本校の魅力を広く伝える。 | ①設置機器の定期点検を実施する等、通信設備の維持に努める。 ②学期毎に大災害を想定した避難訓練を実施する。 ③本校の魅力を適切かつ迅速に発信できるように本校のホームページの充実に取り組む。また、他の情報発信方法について検討する。 ③生徒主体の学校説明会を開催し、魅力を伝える。また、本校の魅力を適切かつ迅速に発信し、開かれた学校をつくる。 | ①ICT機器の使用頻度を確認するとともに、それらが適切に使用されていたか。 ②避難訓練後にアンケートを実施し、振り返りを行う。 ③ホームページを迅速に更新し、充実することができたか。また、有効な情報発信方法を見つけることができたか。 ③学校説明会のアンケートで90%以上の肯定的回答が得られたか。迅速に情報発信することができたか。 |